

日程 2019年7月7日(日)

場所 那須 茶臼岳

メンバー：野村(班長)、高橋(会計)、鶴岡、弘田、秦、金原(記録)

運営委員 駒崎、若林、山口 (敬称略)

交通手段：貸切バス

往路：柳瀬川→北浦和→(東北自動車道)→那須インター→峠の茶屋駐車場

復路：往路の逆(お菓子の城で入浴)

コースタイム

峠の茶屋駐車場 10:33-11:42 峰の茶屋(昼食) 12:13-峠の茶屋駐車場 12:48

感想

前日、体組成測定と体力測定を行い自分の現状を知った。むきになる私達に、ケガをして明日行けなくなることはないようにと運営委員の言葉が飛んだり和気あいあいとした時間であった。自分が思っていたよりも体力があることにほっとすると共に、間をあげずに山に登ることは勿論のこと、日々の習慣が大切だと感じた。運動する時間が取れなくとも、アドバイスにあったように駅やマンションでは階段を使ったり、街を歩くときも息が少し上がる位の早足で歩いたりしようと思った。が、身の丈にあった山歩きをすることは何よりも大事だろう。講義では歩き方、呼吸法、食事や水分の取り方を学び、北浦和公園へ移動し20kgの歩荷体験をした。

そして実地は那須の茶臼岳だ。家を出る時小雨が降っていたが、バスの車中では雨も止み、合羽なしで歩けるかなと期待した。峠の茶屋駐車場に着くと降っているかいないか微妙な霧雨。合羽は個人の裁量に任された。上下着る者、上だけ着用する者、着ない選択もありである。ストレッチ体操を皆でして脈拍を測る。体操をしている時、上から下山してくる人が何人もいて不安を感じる。途中で撤退かもしれない。

準備の出来た班ごとに出発だ。登山口に入るとある山の神の鳥居は真冬に半分以上雪に埋もれてしまうそうだ。歩き方に気を付けゆっくり歩いて行き、一人ずつ順番に19kgのザックを背負う。一人5分程度。昨日はザックを太腿にのせて背負うところからやったが今日は背負わせてもらう。自分の体重の半分近いザックは確かにずっしりと重い。が、思ったよりは平気だ。しかも気を付けなくても自然と歩幅は小さくなり軸足に体重が乗っている。教わった歩き方が出来ているような気がする。ただ、これを担いで何時間も歩きたいとは思えないが……。峰の茶屋に到着すると強い風が吹いていた。小屋の中に全員入り昼食を取り、運営委員の方々が話し合い茶臼岳には行かないこととなる。下りの歩荷体験も中止で、歩荷リュックの中のペットボトルの水を捨てる。小屋の外に出ると強風で小柄な私は本当に飛ばされそうだった。峰の茶屋のあたりは地形的に年中強風が吹くところらしい。強風の中ゆっくり下っていくとじきに風も止み、肌寒かった気候も高度を下げると寒くなくなった。バスに乗る時、靴底を洗うペットボトルの水まで用意され至れり尽くせりだと思った。温泉もゆっくり時間が取れた。

茶臼岳に行けなくて残念だが、撤退する勇気も大事だということを学んだ。帰りのバスの中、またこのメンバーで茶臼岳リベンジしようねと話が出ていいなと思った。運営委員の皆様ありがとうございました。楽しいバスでした。